

# ティーンズ通信 キミは犬派？猫派？

NO.39 2016年9月発行

川口市立図書館発行

—犬と猫の本を集めました—

## 犬と猫がやってきて…

### 『グレイがまってるから』

伊勢英子/著  
中央公論社（中公文庫） Y914

絵描きの家に、ハスキー犬の子犬・グレイがやってきた。初めての犬との生活で、今まで知らなかった世界が見えてくる。絵描き一家とグレイの、ユーモアと愛情に満ちた日常を描くエッセイ。絵描きである著者が描く挿絵が楽しく、そして美しい。

### 『ノラや』

内田百閒/著  
中央公論社（中公文庫） B914.6

夏目漱石の弟子にして文豪の内田百閒の家に、野良猫がやってきた。ノラと名付けて可愛がっていたある日、ノラは帰って来なかった…。「ノラやノラや」と百閒先生は泣き暮らす。いなくなったノラへの、いじらしいほどの愛に溢れたエッセイ。

## 犬と猫は図書館にいる

### 『犬に本を読んであげたことある？』

今西乃子/文 浜田一男/写真  
講談社 K019

犬に本を読んであげるなんて、聞いたことがあるだろうか？アメリカの図書館に、読書介助犬・オリビアがやってきた。子どもたちはオリビアに夢中になり、本が嫌いな子どもたちも、オリビアになら喜んで本を読んであげた。きっとあなたも、愛犬に本を読んであげたくなる。

### 『図書館ねこデューイ』

ウィッキー・マイロン/著 羽田詩津子/訳  
早川書房 645.7

1988年冬の朝、図書館の返却ポストに、仔猫が捨てられていた。図書館長のウィッキーは、この猫を図書館で飼うことにした。デューイと名付けられたこの「図書館ねこ」は、図書館に来る人を、そして町全体を幸せにした。アメリカであった奇跡のような実話。

## 犬と猫は家族と生きるために

### 『極北の犬トヨン』

ニコライ・カラーシニコフ/作 高杉一郎/訳  
徳間書店 Y933

グランは猟師仲間のタルトゥの亡き後、彼の子犬・トヨンを引き取った。トヨンが来てから、これまで不幸つづきだったグラン一家の暮らしが変わり、幸福が舞いこんでくるようになる。極北シベリアの厳しい自然の中で共に生きる、家族と犬のあたたかい物語。

### 『猫の帰還』

ロバート・ウェストール/作 坂崎麻子/訳  
徳間書店 Y933

第二次大戦下のイギリス。出征したジェフリーの妻は、彼の猫・ロード・コート連れて田舎に疎開した。しかし、ロード・コートはジェフリーの元へ行こうと長い旅を始める。猫が見た、戦時下の人々の姿を描く。

## 犬と猫は不思議な力を持っている

『エチュード春一番 第一曲』  
萩原規子／著  
講談社（講談社タイガ） Y913

大学生になる春、美綾のもとに1匹の白黒毛並みのパピオンが迷い込んできた。その犬は、美綾に語りかけ、自分が八百万（やおよろず）の神であり、この家で暮らすことを告げた。進路や恋で悩む美綾と人間生活に興味をもつ犬の姿をした神・モノクロの青春ファンタジー。

『だれも猫には気づかない』  
アン・マキャフリー／著 赤尾秀子／訳  
東京創元社（創元推理文庫） Y933

思慮深き摂政・マンガンが亡くなった。彼は若き領主ジェイマス5世を立派に育て上げ、猫のニフィを残した。そして、隣国の陰謀に立ち向かうジェイマスの側には、いつもニフィがいた…。ロマンティックな猫ファンタジー。

## 犬のことは・猫のことは

『犬のことは辞典』  
きたやまようこ／作 ポチ／監修  
理論社 K913

犬と人が、言葉を通してより良く理解し合うために作られた辞書。

これを読めば、あなたの家の犬ともっと仲良くなれるはず。犬の「ポチ」による監修だから、間違いなし！

『猫語の教科書』  
ポール・ギャリコ／著 灰島かり／訳  
筑摩書房（ちくま文庫） Y934

ある編集者の元に届いた不思議な原稿。書き手はなんと猫！「人間の家をのっとる方法」「食卓でのおすそわけ」など、猫による、猫のための、人間をしつける方法の教科書だったのだ。あなたの家の猫も読んでいるかも？

## 困っている犬・猫は助けて

『犬部!』  
片野ゆか／著  
ポプラ社 Y645

「犬部」は青森県の北里大学獣医学部のクラブで、行き場のなくなった動物を保護して新しい飼い主を探す活動をしている。動物愛に溢れた部員達とかわいいう動物達の、時に厳しくも、たくさんの魅力的なエピソードが収録された作品。

『旅猫レポート』  
有川浩／著  
文藝春秋 Y913

サトルは交通事故にあったノラ猫を助けて、ナナと名付けた。サトルとナナは、仲睦まじく暮らしていたが、やむを得ぬ事情で、ナナを手放さなければならなくなった。サトルはナナと共に、友人達を訪ね、新たな飼い主を探す旅へ出る。

## 編集後記

犬も猫も好きなので、川口市の図書館にもいたらいいなあ…。【犬と猫は図書館にいる】のコーナー、イチオシです！（担当0）

犬・猫、共に飼ったことはありませんが、自分は犬派です。本を読んで、「犬かわいい！でも、飼うのって本当に大変だなー」と思いました。（担当1）